

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月18日 (2019.4.18)

【公開番号】特開2017-74301(P2017-74301A)

【公開日】平成29年4月20日 (2017.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-016

【出願番号】特願2015-204559(P2015-204559)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月11日 (2019.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

該遊技機で発生した所定事象を検出する所定事象検出手段と、

第 1 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 1 所定事象が発生したことを示す第 1 発生情報を表示させ、第 2 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 2 所定事象が発生したことを示す第 2 発生情報を表示させる所定事象表示制御手段と、

可動手段と、

前記可動手段の動作を制御する可動手段制御手段と、

遊技者の操作を受け付ける受付手段と、

前記受付手段の受付に応じて特定制御を行う特定制御実行手段と、

遊技者の操作を受け付け可能である旨を報知する受付報知手段と、

を備え、

前記可動手段制御手段は、前記可動手段の確認動作を制御する確認動作制御手段を含み

、

前記確認動作制御手段が前記可動手段の確認動作を制御する期間である確認動作実行期間中に、遊技者の操作を受け付け可能であるものの、遊技者の操作を受け付け可能である旨の報知を行わず、

前記第 1 発生情報を、前記第 2 発生情報より認識し易い態様で表示し、

前記第 1 所定事象は、前記第 2 所定事象よりも重要度の高い事象である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技が可能な遊技機であって、

該遊技機で発生した所定事象を検出する所定事象検出手段と、

第 1 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 1 所定事象が発生したことを示す第 1 発生情報を表示させ、第 2 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 2 所定事象が発生したことを示す第 2 発生情報を表示させる所定事象表示制御手段と、

可動手段と、

前記可動手段の動作を制御する可動手段制御手段と、

遊技者の操作を受け付ける受付手段と、

前記受付手段の受付に応じて特定制御を行う特定制御実行手段と、

遊技者の操作を受け付け可能である旨を報知する受付報知手段と、

を備え、

前記可動手段制御手段は、前記可動手段の確認動作を制御する確認動作制御手段を含み

、

前記確認動作制御手段が前記可動手段の確認動作を制御する期間である確認動作実行期間中に、遊技者の操作を受け付け可能であるものの、遊技者の操作を受け付け可能である旨の報知を行わず、

前記第 1 発生情報を、前記第 2 発生情報より大きく表示し、

前記第 1 所定事象は、前記第 2 所定事象よりも重要度の高い事象である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

遊技が可能な遊技機であって、

該遊技機で発生した所定事象を検出する所定事象検出手段と、

前記所定事象の発生を検出したことに応じて、発生し得る所定事象に対応した表示領域が設けられた発生報知表示を行う所定事象表示制御手段と、

可動手段と、

前記可動手段の動作を制御する可動手段制御手段と、

遊技者の操作を受け付ける受付手段と、

前記受付手段の受付に応じて特定制御を行う特定制御実行手段と、

遊技者の操作を受け付け可能である旨を報知する受付報知手段と、

を備え、

前記可動手段制御手段は、前記可動手段の確認動作を制御する確認動作制御手段を含み

、

前記確認動作制御手段が前記可動手段の確認動作を制御する期間である確認動作実行期間中に、遊技者の操作を受け付け可能であるものの、遊技者の操作を受け付け可能である旨の報知を行わず、

前記発生報知表示には、第 1 所定事象が発生したことを示す第 1 発生情報を表示する第 1 表示領域と、第 2 所定事象が発生したことを示す第 2 発生情報を表示する第 2 表示領域と、を含み、

前記第 1 表示領域は、前記第 2 表示領域より大きく、

前記第 1 所定事象は、前記第 2 所定事象よりも重要度の高い事象である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 遊技が可能な遊技機（スロットマシン 1、パチンコ）であって、

該遊技機で発生した所定事象（ドア開放エラー状態、エラー状態（オーバーフロータンク溢れエラー、ホッパーエンptyエラー、払出メダル詰まりエラー、投入信号異常エラー、ール回転異常エラー、不正入賞エラー、RAM 内容エラー）を検出する所定事象検出手段（メイン制御部 41、サブ制御部 91）と、

第 1 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 1 所定事象が発生したことを示す第 1 発生情報（エラー画面）を表示させ、第 2 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 2 所定事象が発生したことを示す第 2 発生情報を表示させる所定事象表示制御手段（サブ制御部 91）と、

可動手段（可動手段 901～903）と、

前記可動手段の動作を制御する可動手段制御手段（サブ制御部 9 1）と、  
遊技者の操作を受け付ける受付手段（遊技者側設定スイッチ 7 0）と、  
前記受付手段の受付に応じて特定制御を行う特定制御実行手段（サブ制御部 9 1）と、  
遊技者の操作を受け付け可能である旨を報知する受付報知手段（遊技者側設定スイッチ  
7 0 の L E D）と、

を備え、

前記可動手段制御手段は、前記可動手段の確認動作を制御する確認動作制御手段を含み

、  
前記確認動作制御手段が前記可動手段の確認動作を制御する期間である確認動作実行期  
間中に、遊技者の操作を受け付け可能であるものの、遊技者の操作を受け付け可能である  
旨の報知を行わず、

前記第 1 発生情報を、前記第 2 発生情報より認識し易い態様で表示し、

前記第 1 所定事象は、前記第 2 所定事象よりも重要度の高い事象である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

（ 2 ） 遊技が可能な遊技機（スロットマシン 1、パチンコ）であって、

該遊技機で発生した所定事象（エラー状態）を検出する所定事象検出手段（メイン制御  
部 4 1、サブ制御部 9 1）と、

第 1 所定事象の発生を検出したことに応じて、前記第 1 所定事象が発生したことを示す  
第 1 発生情報（エラー画面）を表示させ、第 2 所定事象の発生を検出したことに応じて、  
前記第 2 所定事象が発生したことを示す第 2 発生情報を表示させる所定事象表示制御手段  
（サブ制御部 9 1）と、

可動手段（可動手段 9 0 1 ~ 9 0 3）と、

前記可動手段の動作を制御する可動手段制御手段（サブ制御部 9 1）と、

遊技者の操作を受け付ける受付手段（遊技者側設定スイッチ 7 0）と、

前記受付手段の受付に応じて特定制御を行う特定制御実行手段（サブ制御部 9 1）と、

遊技者の操作を受け付け可能である旨を報知する受付報知手段（遊技者側設定スイッチ  
7 0 の L E D）と、

を備え、

前記可動手段制御手段は、前記可動手段の確認動作を制御する確認動作制御手段を含み

、  
前記確認動作制御手段が前記可動手段の確認動作を制御する期間である確認動作実行期  
間中に、遊技者の操作を受け付け可能であるものの、遊技者の操作を受け付け可能である  
旨の報知を行わず、

前記第 1 発生情報を、前記第 2 発生情報より大きく表示し、

前記第 1 所定事象は、前記第 2 所定事象よりも重要度の高い事象である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

（ 3 ） 遊技が可能な遊技機（スロットマシン 1、パチンコ）であって、

該遊技機で発生した所定事象（エラー状態）を検出する所定事象検出手段（メイン制御

部 4 1、サブ制御部 9 1 ) と、

前記所定事象の発生を検出したことに応じて、発生し得る所定事象に対応した表示領域が設けられた発生報知表示 ( エラー画面 ) を行う所定事象表示制御手段 ( サブ制御部 9 1 ) と、

可動手段 ( 可動手段 9 0 1 ~ 9 0 3 ) と、

前記可動手段の動作を制御する可動手段制御手段 ( サブ制御部 9 1 ) と、

遊技者の操作を受け付ける受付手段 ( 遊技者側設定スイッチ 7 0 ) と、

前記受付手段の受付に応じて特定制御を行う特定制御実行手段 ( サブ制御部 9 1 ) と、

遊技者の操作を受け付け可能である旨を報知する受付報知手段 ( 遊技者側設定スイッチ 7 0 の L E D ) と、

を備え、

前記可動手段制御手段は、前記可動手段の確認動作を制御する確認動作制御手段を含み、

前記確認動作制御手段が前記可動手段の確認動作を制御する期間である確認動作実行期間中に、遊技者の操作を受け付け可能であるものの、遊技者の操作を受け付け可能である旨の報知を行わず、

前記発生報知表示には、第 1 所定事象が発生したことを示す第 1 発生情報を表示する第 1 表示領域と、第 2 所定事象が発生したことを示す第 2 発生情報を表示する第 2 表示領域と、を含み、

前記第 1 表示領域は、前記第 2 表示領域より大きく、

前記第 1 所定事象は、前記第 2 所定事象よりも重要度の高い事象である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 1 1】

一方、S a 1 5 a の判定において設定キースイッチがオフと判定した場合 ( S a 1 5 a で N )、または S a 1 5 c の判定において R A M 異常フラグがセットされていないと判定した場合 ( S a 1 5 c で N ) には、S a 1 1 の判定、S a 1 3 の判定、R A M 異常フラグがセットされているか否かにもとづき R A M 4 1 c の記憶内容が破壊されていたか否か、すなわち R A M 4 1 c の記憶内容が正常か否かを判定する ( S a 1 6 )。R A M 4 1 c の記憶内容が破壊されていない場合 ( S a 1 6 で N ) には、電断復帰コマンド ( 電断復帰コマンド 1 ~ 4 ) をサブ制御部 9 1 に送信するとともに ( S a 1 7 )、ホットスタートコマンドをサブ制御部 9 1 に送信する ( S a 1 8 )。なお、R A M 4 1 c の記憶内容が破壊されていない場合とは、S a 1 1 で Y、かつ S a 1 3 で R A M 破壊診断用固定データが正しいと判定され、かつ R A M 異常フラグがセットされていない場合である。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 3 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 3 1 0 】

メイン制御部 4 1 は、店側設定スイッチ 8 0 のチャンネルが切り替えられていないと判定したときには ( S 1 3 0 で N )、全てのストップスイッチが同時に長押しされたか否かを判定する ( S 1 3 4 )。メイン制御部 4 1 は、全てのストップスイッチが同時に長押しされなかったと判定したときには ( S 1 3 4 で N )、店側演出設定処理を終了する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 3 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 3 1 1 】

一方、メイン制御部 4 1 は、全てのストップスイッチが同時に長押しされたと判定したときには ( S 1 3 4 で Y )、ドア開放検出スイッチ 2 5 が O N 状態であるか否かを判定する ( S 1 3 5 )。メイン制御部 4 1 は、ドア開放検出スイッチ 2 5 が O N 状態である、つまり前面扉 1 b が閉鎖していると判定したときには ( S 1 3 5 で Y )、店側演出設定処理を終了する。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 3 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 3 1 2 】

一方、メイン制御部 4 1 は、ドア開放検出スイッチ 2 5 が O F F 状態である、つまり前面扉 1 b が開放していると判定したときには ( S 1 3 5 で N )、S 1 3 6 に進む。この後、サブ制御部 9 1 に対してモード選択状態に移行することを特定可能なモード選択開始コマンドを送信する ( S 1 3 7 )。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 3 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 3 1 3 】

モード選択状態において、メイン制御部 4 1 は、店員によって通常モードまたは節電モードが選択されたか否かを判定する ( S 1 3 8 )。メイン制御部 4 1 は、所定期間内にいずれかのモードが選択されたと判定したときには ( S 1 3 8 で Y )、選択されたモードを設定する ( S 1 3 9 )。その後、メイン制御部 4 1 は、サブ制御部 9 1 に対して選択されたモードを特定可能なモード特定コマンドを送信する ( S 1 4 0 )。これにより、サブ制御部 9 1 は、選択されたモードに応じて各種の演出手段を制御する。たとえば、節電モードに設定されたときには、通常モード時に比べて、演出に用いる L E D の数を減らしたり、L E D の光量を下げたりといった制御を行う。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 3 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 3 1 4 】

一方、メイン制御部 4 1 は、所定期間内にいずれのモードも選択されなかったと判定し

たとき ( S 1 3 8 で N )、またはモード特定コマンドを送信した後は、終了操作されたか否かを判定する ( S 1 4 1 )。この終了操作は、スタートスイッチ 7 を長押しすることによって行われる。メイン制御部 4 1 は、所定期間内に終了操作されなかったと判定したときには ( S 1 4 1 で N )、S 1 3 8 の処理に戻る。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 1 5】

一方、メイン制御部 4 1 は、所定期間内にスタートスイッチ 7 が長押しされたと判定したときには ( S 1 4 1 で Y )、サブ制御部 9 1 に対してモード選択状態を終了することを特定可能なモード選択終了コマンドを送信し ( S 1 4 2 )、店側演出設定処理を終了する。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 7 2】

一方、サブ制御部 9 1 は、すでに最大の音量に変更済みであると判定したときには ( S 1 7 2 で Y )、店側設定スイッチ 8 0 のチャンネル設定に基づく基準設定と現在選択されている最大の音量設定とに応じた音量の確認音、つまり店側設定スイッチ 8 0 のチャンネル設定に対応した最大音量の確認音をスピーカ 5 3、5 4 から出力し ( S 1 7 3 )、S 1 7 9 の処理に移行する。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 7 3】

サブ制御部 9 1 は、S 1 7 1 の処理において、最大の音量へ変更操作されていないと判定したときには ( S 1 7 1 で N )、遊技者が第 2 音量段階で変更可能な最小の音量へ変更操作したか否かを判定する ( S 1 7 4 )。サブ制御部 9 1 は、最小の音量へ変更操作されたと判定したときには ( S 1 7 4 で Y )、すでに最小の音量に変更済みであるか否かを判定する ( S 1 7 5 )。